

姉妹都市での移住交流会の参加者募集！ 常陸太田市×臼杵市×『田舎暮らしの本』

イベント開催！

参加費無料

「二孝女物語」が縁で姉妹都市になった常陸太田市と臼杵市が『田舎暮らしの本』とコラボイベントを開催します。イベントには『田舎暮らしの本』の編集長も参加。田舎暮らしの成功の秘けつなども聞けます。この機会にぜひ足を運んでみませんか？

日時: 10月7日(日)14:00~17:00(予定) 募集人数: 30名

会場: 神田神保町「EDITORY(エディトリー)」

(東京都千代田区神田神保町2-12-3安富ビル2階)



『田舎暮らしの本』第6回
住みたい田舎ベストランキング
若者世代が
住みたい田舎
第1位



『田舎暮らしの本』第6回
住みたい田舎ベストランキング
子育て世代が
住みたい田舎
第1位



「二孝女物語」を縁に
姉妹都市に



1811年に旅先の青蓮寺(常陸太田市東連地町)で病に倒れた父を迎えに、豊後国臼杵(臼杵市)から苦難の旅をした2人の娘の実話「二孝女物語」。これを縁に2市は姉妹都市に。企画展を開催したほか、さまざまな交流を行っている。

森 遼太さん(29歳)
もりりょうた

佳蓮さん(23歳)
かれん

遼太さんは千葉県、佳蓮さんは熊本県出身。今年3月の結婚を機に大分県臼杵市に移住。臼杵市の最東端にある泊ヶ内(とまりがうち)地区に空き家を借りて暮らす。遼太さんは現在、臼杵市で自然を生かした人材育成事業の準備中。

私たちがお話しします

板谷 岳さん(29歳)
いただにたかし

みはるさん(31歳)
みはる

春杜くん(5歳)
はると

つきかちゃん(3歳)
つきか

雪杜くん(1歳)
ゆくと

岳さんは大阪府、みはるさんは東京都出身。求人サイト「日本仕事百貨」で茨城県常陸太田市のアンティーク家具修理販売(株)ラフジュ工房に出会い、2014年に常陸太田市へ移住し、夫婦で働く。

新田穂高さん(54歳)
にったほたか

フリーライター。横浜市生まれ。20年前に茨城県の茅葺き屋根の家に家族で移住。田舎暮らし、農業、菜園などをテーマに各地取材する。PTAや公民館などの活動経験もあり、子育て世代からシニアまで幅広い層の田舎暮らし事情に詳しい。

特別コメンテーター

『田舎暮らしの本』
柳 順一
やなぎゆんいち

2008年より現職。「ランキング1位の両市が、二孝女物語まで遡るご縁の姉妹都市と知り、驚きました。食に誇りを持ち、若い世代を応援している共通点もあります。アットホームで、おいしく、実り多い会になりそうです。ぜひお越しください!」

交流会のお申込みは、バーコードもしくは下記URLから!
<https://ssl.tkj.jp/f/inaka1810/>



※会場までの交通費は自己負担とさせていただきます。 ※イベント内容は予告なく変更する場合があります。 ※応募者が多い場合は抽選とさせて頂く場合がございます。 ※当日会場では各種メディアによる取材が予定されており、各メディアにて写真・映像が公開・掲載される可能性があります。あらかじめご了承ください。 ※参加の方にはメールでも通知させていただきます。 ※登録された個人情報(メールの送付、アンケート集計)のみに使用し、そのほかの目的には一切使用いたしません。 ※宝島社のプライバシーポリシーについてはホームページ(<http://tkj.jp/privacy/policy/>)をご覧ください。

常陸太田市×臼杵市×『田舎暮らしの本』交流会事務局
inakagurashi-hitachiota-usuki@takarajimasha.co.jp

臼杵市 ここが自慢!

大分県の東南部に位置し、城下町の風情を残す臼杵市。若年・子育て世帯への家賃補助金を独自に設けているほか、移住モニターツアー「うすきおためし暮らし」などを開催。第3回の11月23日(金・祝)～25日(日)と第4回の2019年2月9日(土)～11日(月・祝)の参加者を受け付け中。



↑臼杵の農家さんが行う朝市「ひやくすた」。第1日曜開催。化学合成農薬・化学合成肥料を使用しない新鮮な野菜が手に入る。

☎秘書・総合政策課

☎0972-63-1111 (内線2303)

<http://www.city.usuki.oita.jp/categories/bunya/ijyushien/>



中野五郎市長
なかのごろう

移住・定住促進を目指してきめ細かな政策を積み重ねてきました。最近では「臼杵おためしハウス」の開設などインフラも充実させています。諸政策を活用して多くの方にこのまちの仲間になっていただけたらと思います。一緒に素晴らしいまちをつくっていきましょう!

常陸太田市 ここが自慢!

茨城県の北東部に位置し、東京から120km圏内にある常陸太田市。2009年から子育て支援をスタート。市長が先頭に立って子育て支援を最重要政策にし、推進している。新婚家庭家賃助成、保育料を1人目から半額、おむつ代2万円プレゼント、午後10時までの子ども夜間診療など、支援が充実。



↑今年4月に子育て支援施設「じょうづるはうす」がリニューアルオープン。子育て世代の意見を反映した内装が特徴。

☎少子化・人口減少対策課

☎0294-72-3111 (内線314、346)

<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/dir004947.html>



大久保太一市長
おおくぼたいいち

「幸せを感じ、暮らし続けたいと思うまち常陸太田 ～子育て上手その先へ さらなる魅力の創造～」の実現を目指し、さまざまな支援制度、環境づくりを行っています。多くの方に常陸太田市の魅力を知っていただき、住んでみたいと感じていただければと思います。

おいしい
産品料理で
交流会

30名限定! 参加費無料! 日時:10月7日(日) 14:00~17:00(予定)

常陸太田市×臼杵市×『田舎暮らしの本』移住交流会開催!

開催内容(予定)

14:00~
市の紹介&市長対談

移住実践者の話
トークセッション
(板谷さん一家、森さん夫妻、
『田舎暮らしの本』編集長、
ライター新田穂高さん)

産品料理&交流会
(個別相談も可)



茨城県常陸太田市×大分県臼杵市×『田舎暮らしの本』が10月にコラボセミナーを東京・神田神保町で開催。先輩移住者のトークイベントでは本誌ライターでありながら、自ら茨城県石岡市で田舎暮らしを実践している新田穂高さんも参加。ほかにも、常陸太田市特産の常陸秋そばに、臼杵市特産のフグ料理などを味わいながらの交流会やプレゼント抽選会も行われる。参加費無料。定員は30名程度なので早めに予約をしよう。

会場: 神田神保町「EDITORY (エディトリー)」
(東京都千代田区神田神保町2-12-3安富ビル2階)
アクセス: 東京メトロ半蔵門線「神保町駅」
都営三田線、都営新宿線「神保町駅」A4出口より徒歩1分



プレゼントや
抽選会も!



交流会のお申込みは、バーコードもしくは下記URLから! お待ちしております!

<https://ssl.tkj.jp/f/inaka1810/>

☎ 常陸太田市×臼杵市×『田舎暮らしの本』交流会事務局

☑ inakagurashi-hitachiota-usuki@takarajimasha.co.jp



※会場までの交通費は自己負担とさせていただきます。 ※イベント内容は予告なく変更する場合があります。 ※応募者が多い場合は抽選とさせていただきます。 ※当日会場では各種メディアによる取材が予定されており、各メディアにて写真・映像が公開・掲載される可能性があります。あらかじめご了承ください。 ※参加の方にはメールでも通知させていただきます。 ※登録された個人情報の送付、アンケート集計のみに使用し、そのほかの目的には一切使用いたしません。 ※宝島社のプライバシーポリシーについてはホームページ (<http://tkj.jp/privacy/policy>)をご覧ください。